

令和元年度 基礎看護学ユニット研究活動状況

A. 構成メンバー

辻 幸代, 中納美智保, 前久保恵, 和田幸子, 松下直子, 黒住智子

B. 研究活動の概要

2016年度からユニット研究として,「映像によるデブリーフィングセッションを取り入れたシミュレーション教育の実際と効果」をテーマに看護教育の研究に継続的に取り組んでいる。

2019年度は第三段階として2018年度に実施したデータ分析および2017年度のデータとの比較分析を行い,学会発表および論文を投稿し採択された。

個人研究として,看護技術の検証や看護ケアに寄与することを目的とした後頸部への湿性温電法の基礎的研究などに取り組んでいる。

C. 研究業績

1. 著書

なし

2. 論文

中納美智保, 前久保恵, 辻幸代, 和田幸子, 松下直子, 山根木貴美代, 堀本知春, 井手窪澄子, 森永聡美: 学生が自己のシミュレーション映像を視聴しての気づき, 日本看護学会論文集, 看護教育 49 号, 167-170, 2019.2

松下直子, 辻幸代, 堀本知春, 山根木貴美代, 井手窪澄子, 中納美智保, 前久保恵, 和田幸子: シミュレーション場面の映像から分析した学生の特徴的な行動パターン, 関西医療大学紀要 13 巻, 17 - 23, 2019.12

3. 学会発表

中納美智保, 辻幸代: 後頸部への湿性温電法がもたらす自覚症状と脳活動の変化, 日本看護科学学会学術集会, 金沢, 2019.12

辻幸代, 中納美智保, 和田幸子, 前久保恵: バイタルサイン測定 of シミュレーションを実施した1週間後の学生の記憶, 日本看護科学学会学術集会, 金沢, 2019.12

和田幸子, 辻幸代, 中納美智保, 前久保恵: シミュレーション実施直後の看護学生の思い, 日本看護科学学会学術集会, 金沢, 2019.12

4. 研究費獲得状況

科学研究費助成事業 基盤研究 (C), 中納美智保 (研究代表者), 辻幸代 (研究分担者): 「後頸部への湿性温電法がもたらす脳活動への影響」, 2017 ~ 2019.

D. 社会活動・その他

辻幸代: 保健師助産師看護師実習指導者講習会講師, 和歌山県看護研修センター, 2019.6 ~ 7

辻幸代: 大阪府看護協会 2019 年度研修「看護研究シリーズ④」講師, ナーシングアート大阪, 2019.10.21

辻幸代: 南奈良総合医療センター看護部研修会講師, 看護研究, 2019.4 ~ 2020.3

辻幸代: 生活支援・介護予防サービス協議体委員, 熊取町, 2019.6

中納美智保: 看護研究指導, 大阪府済生会富田林病院, 2018.4 ~ 2019.2

和田幸子: 日本生活支援学会学会誌査読, 2019.10